

2011/6/19 (日) 開催!

打ち水大作戦 2011  
ECO スタディツアー・ツアーコミュニケーション養成講座

第6回『子どもと楽器づくり!』

NPO 法人コドモワカモノまちingの星野諭さんを講師に向かえ、小学生と楽器づくりをしました。



子どもの感性を引き出すコツとは?

とうとう最終回を迎えた養成講座。最後を締めくくる今回は、NPO 法人コドモワカモノまちingの星野諭さんを講師に向かえ、子どもと楽しみながら感性を引き出すコツを学びます。「私たちはみな、心地よい音を感じると、感性のままリズムを表現することが出来ます。」講師の星野さんから最初になげかけられた言葉です。まずは参加者の学生が自らの感性を開く

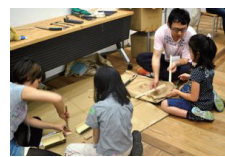


万全な安全対策を考えた後は、実際に港区の小学生親子18組を迎え、楽器づくりワークショップを行いました。自然素材の竹や間伐材のこっばを使って自由に自分だけのマイ楽器づくりに挑戦する小学生ををサポートしながら、学生も自分のお気に入り



子どもと一緒に楽器づくりに挑戦!

ために、体たき自己紹介をしました。私たちが感性を開いて、いかに子どもたちと同じ目線でものごとを感じられるか。そこに、子どもの感性を引き出す秘密があるのです。そのコツを最大限に活かすために必要なのは、様々な状況を想定したりリスクマネジメント。プログラムを時系列的に詳しく書き出し、起こりうるリスクを



大切なのは、シェアすること。

もれなく全てピックアップし、それらひとつずつに安全対策を徹底していきます。例えば、今回の講座で小学生たちが竹楽器をつくるにあたり、危険なことは何があるでしょうか。ナタなどの刃物の使い方、ささくれ立っている竹の扱い方、周りの人にぶつからない配置など、参加者は頭をひねってリスクを洗い出し、それに対応する安全対策を考えました。



子どもたちが帰り、静けさを取り戻したところで、ワークショップの振り返りです。「特に指示をしなくても、自由な発想で楽器を作り出せた。」「セッションで一体感が生まれ、子どもたちも楽しそうだった。」などのうれしい感想がある一方で、「シャイな子にどう投げかければよかったか?」「どこまでヒントを出せばいいの?」など、疑問点もあがりました。でも、その疑問の答えに正解はありません。星野さんからは疑問に対してみんなでノウハウを考え、シェアすることの大切さを教えてもらいました。参加者のみんなどはECOスタディツアーに向けて決意を新たに、講座は終了しました。



星野諭さんからのメッセージ

私は、新潟県妙高市(旧妙高高原)に生まれ、子どもの頃は、野山を駆け回って遊び、川魚を手掴みし、薪風呂で育ち、地域の人や自然、文化や叡智の縁(つながり)に育ててもらいました。近年、子どもを取り巻く環境が急速に変化し、「3間の欠如(時間・空間・仲間)」は著しく、「縁」が失われやすい環境になっていきます。子どもは成長の過程で様々な人や文化、自然や知恵とつながり、感動・感性・感謝の気持ちが高まります(『感育』)。



「知ることは、感じることの半分も重要ではない」環境問題に早くから警鐘をならしていたレイチェルカーソンの言葉に私たちは強く共感しています。豊かな感性を育み、たくさんの感動を体験し、自分や他者、自然への感謝の気持ちがあれば、自然に地球と共生する方法を模索し、もつと豊かな環境を未来に託そう、という気持ちになるはずだと私たちは信じています。

価値観が日々変化している現代社会において、過去と今と未来の関係を有機的に紡ぎ、本来の豊かさを一人一人が再認識し、グローバル(グローバル&ローカル)な視点アクションをすることが「豊かな未来をつくる鍵」となります。(NPO法人コドモワカモノまちing 代表理事 星野諭)

TOMYからのメッセージ

「子どもと楽しむためには、経験値は関係ありません。いかに子どもと同じように感性を開けるかが鍵です。」星野諭さんの言葉に、私は子どもたちへの深い愛情を感じました。自分が子どもだったころ、新しい世界に触れてわくわくした興奮を思い出し、その時と同じ感覚で子どもたちと一緒に遊ぶと、いつのまにか自分がいっぽん染しんでいることに気づくことがあります。まずは自分が楽しまないことには、まわりの人たちに楽しさを届けることはできません。何かに集中しているときのあのわくわくの感覚を忘れずに、ECOスタディツアーに参加した親子が楽しみながら水の未来を学べるよう、企画をつめていきたいと思いたいと思います。全6回の講座で学んだことを、ツアーに結集させます! (第6回講座担当 津谷瑛里)



TOMYと打ち水大作戦は今夏、小学生親子を対象としたECOスタディツアー「親子で発見!水の未来」を企画しています。今講座に参加してください。みなさまと一緒にツアーを盛り上げよう!と思っておりますので、ぜひ参加ください。ユースの力で、打ち水大作戦を盛り上げ、節電の今夏を楽しく乗り切りましょう!